

SAGAMIHARA GREEN

URL <http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp>

相模原市まち・みどり公社機関紙
さがみはらグリーン

★「さがみはらグリーン」は、まち・みどり公社本社（けやき会館内）をはじめ、市内の市立公園や公民館、図書館等に配架しております。

Vol.59 2018.09

写真 相模原麻溝公園（見ごろ：6月上旬）

2～3ページ▶

アジサイ特集

川原田邦彦氏の

アジサイを上手に咲かせるポイント

秋から冬までの管理栽培編

みどりのボランティア団体紹介

4ページ▶

市内の動植物を訪ねて

暮らしを彩るボタニカル・ライフ ～ルッコラで秋バテ対策～

ガーデニングデザイナー 志村みか氏

「ハーブ」というと、春から栽培を始めて、夏にかけて育っていくイメージを持たれている方が多いのではないのでしょうか。実は、春と秋のどちらでも、種まきや苗の植え付けができるハーブの種類は多くあります。

今回は体の疲れの解消にオススメのハーブ「ルッコラ」（別名ロケット）です。

ルッコラは、βカロチン、ビタミンC・E、カリウム、カルシウム、リン、葉酸、食物繊維を豊富に含み、辛味成分であるアリルイソチオシアネートには、胃液の分泌を促し、腸内環境を整える働きがあります。また、グルコシノレートという解毒作用も含まれており肝機能を補助してくれる効果もあります。

かすかにゴマのような風味があり、若くて柔らかい葉をサラダやピザ、パスタに加えて食べてみてはいかがでしょうか。

ルッコラの育て方

種袋の裏に記載している栽培方法や期間をよく確認し、種を蒔きましょう。

種まき時期にもよりますが、1週間ほどで発芽します。

アブラナ科の植物のため、アブラムシが付きやすいので注意が必要です。

大根の花に似た十文字の白い花は、エディブルフラワー（食用花）として利用できます。



コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社は、まち・みどり公社が実施する「みどり豊かなまちづくり推進事業」に協賛しています。

公益財団法人 相模原市まち・みどり公社は、地域のために活動する自治会を応援しています。



川原田邦彦氏の アジサイを上手に咲かせるポイント

秋から冬までの管理栽培編

アジサイは基本的に、10月に花芽分化をします。それまでに新芽が充実すると花芽に変わります。

このため、7月末までに剪定を終わらせないと、花芽が付かないことがほとんどです。剪定をしていなかった場合、花ガラが残っている茎だけ葉を数枚残して剪定してください。花をつけなかった枝は剪定せず、そのまま残します。

アナベルに代表されるアメリカアジサイは、新葉が伸びたところに花が付くので、剪定には気を使わなくてよい特別な種類です。地際から切することもできますが地際剪定をする場合、冬場はさけ、3月頃に行うと、寒さで株が痛むことはありません。



冬は置き場がポイント

鉢植え

落葉したら、寒風の当たらない場所に移動します。アジサイは寒風に弱く、茎の上部から枯れやすい植物です。茎の1番上に花芽が付くから、寒風に当たる場所では、花が見られなくなります。置き場所には注意をしましょう。

庭植え

寒風に弱いことを踏まえ、塀や家の脇、大きな樹の下に植えます。寒風がまともに当たる場所では、寒冷紗等かんれいしゃで風よけをする必要があります。なお、アナベルなどのアメリカアジサイは関東地方での寒さ対策は必要としません。

冬場の肥料

多くの植物同様に寒肥を施します。基本は12月中旬から2月上旬です。多めに施しても問題はありません。もしこの時期に行なわなかった場合、3月中旬くらいまでに少量を施します。

冬場の水やり

夏場とは違い、水やりを頻繁にする必要はありません。鉢植えは鉢土の表面が乾いたら十分に施しましょう。庭植えはほとんど必要ありません。



あじさいボランティア

相模原麻溝公園や市役所前さくら通りに植栽されているアジサイの剪定作業や、「アジサイ挿し木講習会」での講師等の活動を行っています。

活動場所：相模原麻溝公園・市役所前さくら通り等
活動日：不定期（主として土曜日）
お問合せ先：相模原麻溝公園管理事務所
TEL 042-777-3451



相模原北公園

相模原北公園で植栽されているアジサイの活動を行っています。

活動場所：相模原北公園
活動日：水曜日・土曜日
お問合せ先：相模原北公園管理事務所
TEL 042-779-5885





川原田邦彦氏プロフィール

NHK「趣味の園芸」講師として活躍するほか、樹木ナーセリー、造園などを幅広く手がける。特にアジサイは長年にわたり、幅広く収集、研究を続けている。

主な著書 「NHK趣味の園芸 12ヶ月栽培ナビ アジサイ」
「NHK趣味の園芸 よくわかる栽培12ヶ月 カエデ、モミジ」
「NHK趣味の園芸 よくわかる栽培12ヶ月 アジサイ」ほか

おすすめの品種



ヤマアジサイ
‘九重の花吹雪’

濃い青色のテマリ咲きで、獅子咲き。
※獅子咲きとは、装飾花が密に凝縮した咲き方のこと。



ガクアジサイ
‘ナデシコ咲き’

明治時代の初めには作出されていた品種。
装飾花のふちに鋸歯があり、紅色がかかる紫色が美しい。



エゾアジサイ
ひょうがべに
‘日向紅’

宮崎県では美しい紅色だが、普通につくると濃い群青色で大変美しい。



ヤマアジサイ
‘花吹雪’

大形のテマリ咲き。淡い青色で花弁に鋸歯がある。クサアジサイの種類で同名の‘花吹雪’というアジサイがあるが別の物である。



ガクアジサイ
‘トーマス ホッグ’

横文字の名が付いているが、日本古来の品種。白花が終わりかけに、青や赤に変化するるので大株に育てると、より一層楽しめる。



アメリカアジサイ
‘ピンクのアナベル2’

ピンクのアナベルの小形の品種で、雨に倒れにくい。花後の強剪定で再び開花する。

文・写真 園芸研究家：川原田邦彦氏

花のボランティア

アジサイやバラの剪定、手入れ等の活動



F・Cボランティア

相模原警察署前交差点の植栽帯や花壇をはじめ、市役所前さくら通りの除草、落ち葉掃き、清掃活動を行っています。またあじさいボランティアとともに市役所前さくら通りのアジサイ剪定を行っています。

活動場所：国道16号 相模原警察署前交差点付近の植栽帯

相模原市役所さくら通り

活動日：不定期（主として月曜日・木曜日）

お問合せ先：伊藤 紀子代表 TEL 042-714-2360





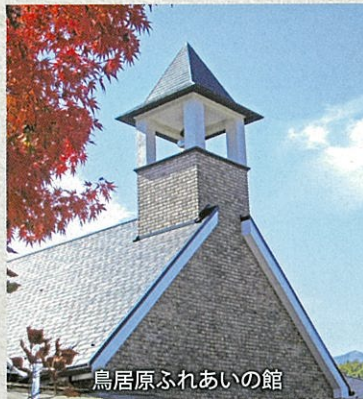
鳥居原園地の ドウダンツツジ

鳥居原園地は、宮ヶ瀬ダムの鳥居原エリアに位置した景勝地です。清々しい湖畔の空気や四季折々の景色が楽しめる公園として整備され、週末には人々の憩いの場として利用されています。

周辺には観光名所が多く、湖畔エリアとの連絡路となっている「虹の大橋」、宮ヶ瀬湖を一望できる「岬の展望台」、鐘の音色も美しい「湖畔庭園」のほか、秋には鮮やかな紅に色づく一面のドウダンツツジが楽しめます。



ドウダンツツジの花



鳥居原ふれあいの館



ドウダンツツジは、4月から5月頃に白い壺形の花を多数咲かせる落葉低木樹木です。庭の生垣にも利用されている植物で、白い花が満天の星に見えるところから、満天星(ドウダンツツジ)とも書きます。

花の時期だけでなく、鮮やかな紅色に染まる紅葉の時期も楽しめる植物です。

鳥居原園地のドウダンツツジは、(公財)かながわトラスティみどり財団の森林インストラクター派遣事業で都立高校の学生約300人とともに、毎年春に植樹しています。今年(H30年)で植栽活動は10回目を迎え、累計約1,700本を植樹しました。

10月中頃より紅葉が始まり12月の月上旬まで楽しむことができます。

なお、近隣施設の「鳥居原ふれあいの館」は、地元野菜や農特産品の販売、レストランなどを併せ持つ交流型の直売所です。

湖畔に向かって斜面一帯に色づくドウダンツツジを見に是非お越しください。

鳥居原園地 〒252-0155 相模原市緑区鳥屋1674 (鳥居原ふれあいの館)

鳥居原ふれあいの館 TEL 042-785-7300 (火曜定休)

アクセス :①JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「鳥居原ふれあいの館」行きバス(橋07系統)、終点下車、徒歩1分。

②「三ヶ木」バス停から「鳥居原ふれあいの館」行きバス(三53系統)、終点下車、徒歩1分。

相模原市まち・みどり公社が推進する「みどり豊かなまちづくり」を応援しています

広告

KIRIN

広告



相模原造園協同組合

<http://www.sagamihara-zouen.jp/>

TEL : 042-773-8977 FAX : 042-773-5051

お庭のお手入れや
緑化工事など、
お気軽にご相談ください。

2018年9月1日発行 / 編集・発行者・発行所 : 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-23 公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
TEL : 042-751-6623 FAX : 042-751-2345

本紙に対するご感想、ご意見をお寄せください。ホームページにもぜひアクセスを… <http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp>